

平成 23 年度第 4 回花巻市健康づくり推進協議会 会議録

1 開催日時

平成 24 年 2 月 9 日（木）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

2 開催場所

花巻市南万丁目 970 番地 5
花巻保健センター 2 階 集団指導室

3 出席者

(1) 委員 17 名

高橋（康）委員（代）三浦副会長、江川委員、大木委員、田名場委員、狩野委員、佐藤（隆）委員、照井委員、平賀委員、伊藤委員、高橋（照）委員、齊藤委員、坂本委員、川戸委員、菅原委員、八木委員、佐藤（勝）委員、佛川委員

(2) 市・事務局 14 名

出茂健康こども部長、上田健康づくり課長、阿部課長補佐、松田主任主査兼係長、佐藤（陽）主任主査兼係長、小森林主任主査兼係長、上野係長、城守副主幹兼係長、佐藤（永）主査、瀬川主査、久保田主査、及川上席主任、大迫保健福祉センター 押切主査、石鳥谷保健センター 伊藤主査

4 会議の概要

(1) 開会

阿部健康づくり課長補佐の進行により開会

(2) あいさつ

出茂健康こども部長

今回の会議で第 4 回目となりますが、委員の皆さまには、お忙しい中出席いただき感謝します。また、インフルエンザが流行拡大しており一層の注意喚起をお願いします。

花巻市保健福祉総合計画は、12 月 27 日から 1 月 26 日までパブリックコメントを行い、市民の方からご意見を頂戴しました。保健福祉総合計画のアクションプランである健康はなまき 21 プランについて、前回のご提言をもとに見直しをかけておりますのでご協議をお願いします。

(3) 協議 高橋（康）会長（代）三浦委員を議長とし進行

1) 花巻市保健福祉総合計画（案）について

上田健康づくり課長説明

12 月 21 日に保健福祉総合計画の策定委員会が開催され、その後パブリックコメントを実施した。本日は、いただいたパブリックコメントを中心に修正された箇所について説明します。

パブリックコメントは、5 名の方から 15 件の意見をいただきました。内容は資料 1-2 のとおりです。健康づくり課の担当部分については、13～15 です。

質疑・意見は次のとおり

- ・**齊藤委員**・・・高齢者の心の健康について、保健福祉総合計画のP18の一般高齢者のアンケートによると、「新聞を読んでいる」、「生きがいがある」について8割以上の方が「はい」と答えているが、一方でP23のアンケート結果を見ると、「毎日の生活に充実感がない」、「楽しんでいたことが楽しめない」という質問項目に「はい」と答えている高齢者も多い印象である。高齢者を活用した事業を展開していくことを考慮していただきたい。
- ・**事務局**・・・この部分に関連して健康はなまき21プランでは、具体的な目標数値を掲げておりそれに沿った形で、すすめていきたいと考えています。
- ・**田名場委員**・・・自殺対策について、北上市では、自死遺族の会がある。花巻にはまだそのような会を立ち上げることができていないが、今後すすめていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。
- ・**事務局**・・・市でも重要な部分と捉えている。自殺は、健康問題、家庭問題、経済的な問題など原因がさまざまである。（自殺を考えている人がどこの窓口を訪れるか分からないことから）市役所内の窓口を担当している課で連絡会議を立ち上げたところです。情報を共有化しながら、自殺対策に取り組んでいきたい。

2) 健康はなまき21プラン（案）について

上田健康づくり課長説明

前回いただいた提言をうけて市の考え方を説明するとともに、見直し後の健康はなまき21プラン（案）について修正した箇所について説明（資料2-2）

今回の主な修正箇所について

P 2 計画の位置づけの図の変更

P 12 花巻市の現状に“5 疾病状況”を加えた

P 19 計画の推進体制の図の変更 「協働」を分かりやすくした

各ページに用語の解説を加えた（P20を例にとり説明）

「健康知恵袋」を各分野毎に掲載した

食事バランスガイドなど周知していく必要のあるものを載せた

タバコの指標については、国の動向に合わせ、「喫煙している人の割合の減少」とし喫煙率を12.2%にした

P53以降に分野別評価資料を掲載した

質疑・意見は次のとおり

- ・**江川委員**・・・健康はなまき21プランの周知方法について。平成14年に全世帯に冊子を配布し、平成19年の中間評価については、全世帯に配布せず、地区の健康教育のときなどに冊子を配布したと記憶している。今回のプランはどう周知していく予定か。
- ・**事務局**・・・本プランは、保健福祉総合計画のなかの健康はなまき21プラン

という位置づけであり、福祉と一緒にすすめていくものなので、今後検討させていただきたい。ただ、この冊子は厚いので、コンパクトにまとめた1枚ものの資料を作成し、機会あるごとに周知を図りたいとは考えている。また、広報、ホームページ、FMはなまき、健康教室を通して、繰り返し市民に周知していきたいと考えている。

- ・齊藤委員・・・マグネットで冷蔵庫に貼れるようなタイプとか、かばんに入るサイズとかいいのではないか。
- ・齊藤委員・・・中学生の健康管理について。体調の悪い生徒の割合が中学生は悪化している。保健事業で関わりが抜けてしまう年代であるので、この年代についても考慮した事業展開をお願いしたい。
- ・佐藤（勝）委員・・・資料について。食事バランスガイド（P22、P23）生活リズム、食育（P48、P49）の説明が分かりやすく、良いと思う。
- ・江川委員・・・計画の推進体制の図（P19）が変更したが、「協働」の意味が伝わりにくく、インパクトに欠ける印象である。
- ・事務局・・・市民ひとりひとりが自分の健康管理をすすめていくもので、病院、学校、事務所、行政など各団体がそれぞれの立場で応援していくということを表わすとこの図になることをご理解いただきたい。
- ・川戸委員・・・計画の推進体制の図（P19）について、医師、歯科医師、薬剤師のところにぜひ看護職も入れてほしい。
- ・事務局・・・了解した。
- ・菅原委員・・・健康教育等の実施体制について。プラン全体的に資料が分かりやすく良い。健康教室、健康相談についてだが、今までもやってきていると思うが、高齢者が多くなってきており遠くまで行けない人のために、小さい地域を回数多くまわるなど全地域は難しいかもしれないが、そのような予定はあるのか。
- ・事務局・・・どこまで細かい地域に入るのか、職員数も限りがあるので全部は難しいが、地域や団体の要望があれば、今までも応じてきている。
- ・佐藤（隆）委員・・・聞いた話だが、市内の産婦人科医院では9月のお産予定はもう締め切っているということであった。安心安全な出産というのは、難しいのではないか。
- ・事務局・・・お産ができるのは市内の産婦人科では2医院のみの現状である。医院を増やすというのは難しい。安心してお産ができるよう、情報は随時市民に流していく予定である。
- ・三浦委員・・・県立中部病院は地域周産期母子医療センターになっているので受け入れ体制は心配なくてよいと思う。
- ・大木委員・・・JAはなまきでは「健康寿命100歳プロジェクト」を立ち上げ、運動、食事など具体的な取り組みをしていく。関係機関の取り組みの中に「J

Aはなまき」を入れて欲しい。
・事務局・・・了解した。

5 その他 なし

6 閉会
阿部健康づくり課長補佐

7 傍聴人数
1名（うち新聞社1社）